



令和5年度学校便り
茶臼原通信 5月号

文責 長友 裕之

**進んで学び 心豊かで
 元気な児童の育成**

進んで学ぶ子 心豊かな子 元気な子

令和5年度がスタートしました。よろしくお祈いします。



校長 長友 裕之



教頭 横山 一憲



教諭 木村 浩利



教諭 柏田千穂子



教諭 横山 正文



教諭 内田理恵子



教諭 木村 哲弥



講師 牧平 佑成



講師 森崎 愛



講師 二渡 誠子



養護教諭

福本 雪乃



事務主査

日高 和幸

本年度、12名で、明るく、楽しく、元気よくをモットーに教育活動に励んでまいります。

4月7日(金) 始業式、私(校長)の話の内容をお知らせします。子ども達に2つのお願いしました。まず、1つ目です。

2年生・・・「友だちの話を最後までしっかり聞ける子になってほしい。友だちが一生懸命話しているのだから、一生懸命聞いてあげないといけないよね。」と話しました。

＊1年生には、入学式で同じ話をしました。

3・4年生・・・「分からないときは、周りの友だちにどんどん聞いてください、そして、聞かれたお友達は、自分のわかるところまででいいから一生懸命教えてあげてください。」と伝えました。

5・6年生・・・「分からないときは、周りの友だちにどんどん聞いてください、そして、聞かれたお友達は、ヒント出しながら一生懸命教えてあげてください。」と伝えました。

授業中、分からなくなったとき、すぐにまわりの友だちに聞くということが非常に大事になります。学習指導要領で唱っている「対話的」とは、この聞くということが出発点になっています。聞かれた友だちは説明をします。自分なりの言葉で説明するので、さらに自分自身、理解できるようになります。

2つ目です。

「自立」できるようになってください。と言いました。自立とは人のせいにしないことです。自立するためには、まわりの人を頼ることです。分からないとき周りの友だちに聞くも、自立を促していくものです。以上、2つのことを子ども達に話をしました。

では、我々大人は、子どもにどんな言葉かけをすれば、自立していくのかというと、「どうしたの」「どうしたいの?」「こういうことなら手伝えるけど」の3つです。

また、失敗をしたときには、「なんで!」ではなく、「どうすればよかった?」と聞くことが大事です。

5月の行事予定

- 1日(月) 耳鼻科検診
- 2日(火) 春の遠足(久峰公園)
- 9日(火) 子どものための音楽会(5・6年生)
- 17日(水) 風水害、引き渡し訓練
- 28日(日) 日曜参観日、奉仕作業、ミニバレー、懇親会
- 30日(火) 尿検査1次

雑感

茶臼原小にきて4週目にはいりました。まだ、まだ、この学校の流れ、時間の流れにおいてけぼりにならないよう歩いている感じがします。『あ～、周りが見えちゃらんあ～』と反省するばかりです。そんな中、自分を笑顔(*^▽^*)にしてくれるのは、子ども達の元気な声、昼休みの黄色い声であり、職員室での先生方の笑い声です。『いい学校!』って、心の中でつぶやいています。